

各 位

フタバ産業株式会社

## 「ESG/SDGsの取組みと情報開示」で上位評価を取得 「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケートローンで資金調達を実施

当社は、この度、株式会社三井住友銀行（本社：東京都千代田区、頭取CEO：高島誠、以下SMBC）をアレンジャーとする「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケートローンを通じて資金調達を実施いたしました。

本件は、SMBCと株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教）が作成した基準に基づき、当社のESGの取組みや情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、その趣旨にご賛同いただいた金融機関によって組成されるシンジケートローンとなります。

今回、当社の取組みは、環境側面（E）、社会側面（S）及びガバナンス側面（G）の各項目について高い水準であると判断され、サステナビリティに向けた企業経営において、良好な取組みと情報開示を実施しており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲を持つとして、上位評価の取得となりました。

### ■主な評価ポイント

E(環境)	事業活動に伴うCO2排出量を精緻に把握していること。 また、自動車の軽量化に貢献する製品や環境負荷低減に資する排ガス除去装置の提供のほか、新事業として排ガスを浄化、CO2を貯留・供給する装置「agleaf（アグリーフ）®」を開発していること。
S(社会)	製品の安定供給に向けた取組みのほか、従業員のワーク・ライフ・バランス推進に向けて、「ふたばサポート」として育児休暇制度や短時間勤務制度等を整備していること。 また、地域コミュニティの社会的課題解決の取組みとして、海外の事業所では、元受刑者への雇用機会の付与等を実施していること。
G(ガバナンス)	中長期的な企業価値向上に向けた取組みを全社的に推進するため、2020年1月に「企業行動推進室」を設置していること。 また、フタバ産業レポートのトップメッセージや、2016～2020年度の中期経営計画「新5カ年計画」において、「モノづくりで社会に貢献」する姿勢を明確にしていること。
SDGs (持続可能な開発目標)	持続可能な社会の実現に向けた取組みとして、環境負荷低減に資する製品を開発し(インプット)、その普及(アウトプット)を通じて気候変動の緩和を実現(アウトカム)し、SDGsが示す「目標7」「目標13」等の達成に貢献していること。

当社は、事業視点の重要性とステークホルダー視点の重要性をそれぞれ分析、その結果から「会社」と「社会」にとって最優先に取り組むSDGsの6つのゴールを選定し、戦略的SDGsと位置付けました。それらのゴール達成に向けグループ・グローバルで取組み、持続可能な社会の実現のために社会的課題の解決へ、今後も貢献を果たしてまいります。

### ■戦略的SDGs

